

## 「やまだ塾」のコメント

(2006.4.25 作成)

社会福祉振興・試験センターの結果公表に対して、以下3点についてコメントします。

**A. 3 福祉士の国家試験は「水準試験」(人数枠がなく、水準をクリアすれば何人でも合格できる試験)であるにもかかわらず、原則とする水準(合格基準)や前年度の合格点の大幅な引き下げをする理由が不明である。**

① 3福祉士ともに「総得点の60%程度」という水準(合格基準)が設定されています。今回も「総得点の60%程度を基準とし、問題の難易度で補正した」と発表されました。社会福祉士の場合150点満点で90点(60%)が補正後80点(53.3%)のマイナス10点、精神保健福祉士は160点満点で96点(60%)が補正後82点(51.2%)のマイナス14点、また、介護福祉士は筆記試験120点満点で72点(60%)が前回補正後82点(68.3%)を今回補正後73点(60.8%)のマイナス9点となっている。CSW, PSW, CCWの国家試験の有資格者の質を確保すべきという社会的要請や国内の他の国家試験との比較においても、3福祉士に対してなぜこのような取り扱いがなされるのか、どうも釈然としません。

- ・ 精神保健福祉士 : 第7回 50% (80点) → 第8回 51.2%(82点) (合格率は第8回 :61.3%)
- ・ 社会福祉士 : 第17回 55.3%(83点) → 第18回 53.3%(80点) (合格率は第18回 :28.0%)
- ・ 介護福祉士 : 第17回 68.3%(82点) → 第18回 60.8%(73点) (合格率は第18回 :46.8%)

(参考)

国家試験(例)	水準(合格のための最低得点率)	合格率
第99回歯科医師国家試験	一般問題:69.8%, 臨床必修問題:70.4%, 必修問題:80% など	80.8%
第100回医師国家試験	一般問題:69.1%, 臨床実地問題:65.1%, 必修問題:80% など	90.0%
第89回助産師国家試験	60.1%	98.1%
第95回看護師国家試験	必修問題:79.3%, 一般問題・状況設定問題:65.4%	88.3%
第19回義肢装具士国家試験	60.0%	92.4%

② 3福祉士の合格率は、上記国内の他の国家試験と比べて極端に低い結果です。「3福祉士の国家試験が難しいから、合格率が低い」という説明には無理があります。

この件に関しては、いずれ詳しく述べますが、結論から言えば、3福祉士の国家試験はいずれも、約10年～20年にわたる努力によって、「国家試験の内容・構成として、よく練られ、妥当な出題がなされている」と筆者は考えています。言い換えれば、3福祉士ともに、特段難しい内容の試験ではなく、60%の水準を合格ラインと想定しているのは妥当だと考えます。ただし、これからも完成度をさらに高め、現状に即した内容・実践的な内容を考慮するという課題は残っています。今回の国家試験においても妥当なレベルの問題であり、「60%」

が取れない者にまで資格を取得させるべきではないと考えます。

合格率が低いという問題は、国家試験の側にあるのではなく、この20年近く(または10年近く)、本来受験できる能力を有していない者に受験資格を与えている「環境」にあると考えています。「教える側の問題(大学、専門学校など)」や「現任者救済的な受験資格取得のしくみ(通信教育を含む)」に焦点を合わせた改良が必要であると思います。

現在、介護福祉士や社会福祉士の試験制度や資格制度の検討が始まっていますが、受験する側に焦点を合わせて、合格基準(水準)を下げたり、受験する者のレベルに合わせて試験問題の水準そのものを下げたりする方向では問題をさらに難しくします。国家試験が始まって以来の約10年~20年を経た今こそ客観的な評価が必要であると思います。そのためには、何を換え、何が変わり、何が現状の問題で、何が将来の課題であるかを明確にしなければならぬと思います。わずかな母集団のアンケートによる分析・解析などでお茶を濁されたり、限られた範囲の意見で方向付けがなされたり、また、これまでの問題や責任を「現場のワーカー側」に帰されたりすることがないように、と祈るばかりです。さらに、この流れにおいて、有資格者である「現場のワーカー」の実態を正確に把握して、彼らのあるべき姿を描くような議論にまで発展させてほしいものです。「介護、福祉系の職能団体は、現場で働く職員を取り巻く環境を向上させるだけの力をまだ持たずにいる」と評価されることがありますが、今後この「試験制度」や「資格制度」について、どのように対応するのかを筆者は期待をもって見えています。このようなチャンスは「めったにない」と思っています。

**B. 先進諸国への体裁作りのために作られた福祉専門職であったとしても、先進諸国の国家試験等で用いられている水準(合格基準)に相応させるべきである。**

- ③ 先進国においても、ソーシャルワーカーなど福祉関連の専門職を国家試験等で「50%程度」の得点率で合格させているのでしょうか。先進国に胸を張って答えられる基準であるのだろうかという疑問をもっています。

以上